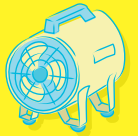


みんなで作る  
住宅浸水直後の

# 行動手順書

できる・やれる・あきらめない

参加費  
無料  
オンライン  
開催



全3回講座 第1回【キックオフ】

2021 7.10  
SATURDAY  
14:00-16:00

●オンライン開催  
ZOOMビデオウェビナー

(第2回【ワークショップ】2021年10月下旬(予定)  
第3回【報告会】2022年1月(予定))

●タイムライン

14:00 - 挨拶・趣旨説明

14:10 - 【対話企画1】  
台風19号災害を振り返って

14:40 - 【トピックトーク】  
当事者からみた具体的な住宅復旧方法

15:05 - 【対話企画2】  
具体的な行動には「なに」が必要？

15:35 - 質疑応答

15:45 - 総評・次回の案内

詳細は裏面

## ●アウトライン

台風19号災害をさまざまな立場から振り返りながら災害時の復旧作業の課題を共有します。全3回の講座を通して、「万が一の水害に備え誰もが「できる・やれる・あきらめない」浸水時の行動手順書を参加者の皆さんと一緒に作成していきます。

お申し込みはこちら



浸水時の行動手順書を一緒に作りませんか？

主催

信州リビング・ラボ

信州大学 | 地域防災減災センター  
SHINSHU UNIVERSITY

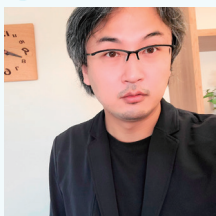
信州大学 | 工学部  
SHINSHU UNIVERSITY

## 開催趣旨

近年、自然災害は私達の想像を遙かに上回る被害をもたらしています。令和元年東日本台風もその1つといえるのではないでしょうか。令和元年東日本台風では千曲川の氾濫により家屋の浸水被害が多数おきました。近年の異常気象では如何なる場所でも浸水被害を受ける可能性があります。

被災者は劣悪な環境下での避難生活など、長期間にわたって不自由をするほか、住宅の補修、解体などの経済的な圧迫が強いられます。被災者はもとの生活を取り戻すためにも、いち早く正しい知識のもとで作業が求められます。それでは私達はどのような手順で復旧作業をおこなえばよいのでしょうか。作業方法によっては今後の、住宅再建費用が大きく変化することもあります。万が一の水害に備え誰もが「できる・やれる・あきらめない」浸水時の行動手順書とその活用方法について皆さんと考えていきます。

## 発起人



信州大学 工学部 (助教)

### 中谷 岳史

2019年の令和元年東日本台風で自宅が被災したことを契機に、建物の復旧手順の研究に取り組みました。

京都府立大学を卒業後、名古屋大学で木質材料の熱湿気特性をテーマに博士号を取得した。大和ハウス工業総合技術研究所で建物の省エネルギーや温熱環境について広範囲に取り組んだ後、2007年から岐阜工業高等専門学校建築学科教員、2018年から信州大学工学部建築学科教員。専門は建築環境工学。

## お申し込み

web ページまたはメールにてお申し込みください。配信に関する詳細情報は申し込み後にメールにてお知らせします。



申し込みフォーム▲

▼WEB ページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/project/livinglab/>

▼メール

E-mail : [living-lab@shinshu-u.ac.jp](mailto:living-lab@shinshu-u.ac.jp)

お名前/連絡先/参加人数をご入力の上送信してください。

## プログラム (全3回講座)

第1回【キックオフ】2021年7月10日(土)

第2回【ワークショップ】2021年10月下旬(予定)

第3回【報告会】2022年1月(予定)



Dialogue



Talk session



Idea

## 第1回【キックオフ】タイムライン

14:00 - 挨拶・趣旨説明

14:10 - 【対話企画1】台風19号災害を振り返って

それぞれの立場から災害後の復旧活動について課題など実例を踏まえ紹介します。

登壇者

山崎 博之 社会福祉法人長野県社会福祉協議会  
総務企画部 企画グループ 主任

根本 弥 麵州竹中 オーナー (ボランティア参加者)

黒澤 美鈴 一般 (地域住民)

14:40 - 【トピクトーク】当事者からみた具体的な住宅復旧方法

登壇者

中谷 岳史 信州大学 工学部 建築学科 助教

15:05 - 【対話企画2】具体的な行動には「なに」が必要?

私達は災害または災害後どのような知識や経験を頼りに具体的な行動をしていけばよいのでしょうか。日頃から意識し行動できる方法や手段はあるのでしょうか。みなさんと一緒に考えていきます。

15:35 - 質疑応答

15:45 - 総評・次回の案内

## お問い合わせ

信州リビング・ラボ事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

信州地域技術メディカル展開センター1階

TEL : 0263-37-2067 FAX : 0263-37-2076

E-mail : [living-lab@shinshu-u.ac.jp](mailto:living-lab@shinshu-u.ac.jp)



主催

信州大学学術研究産学官連携推進機構 信州リビング・ラボ事業  
信州大学地域防災減災センター 信州大学工学部

後援 (予定)

長野県 長野市 NHK長野放送局 長野朝日放送(株) 信越放送(株) (株)長野放送(株) テレビ信州 長野エフエム放送(株) 長野県社会福祉協議会  
長野県災害時支援ネットワーク 信濃毎日新聞社 (株)新設新聞社  
長野市民新聞社(株) 市民タイムス 信州の快適な住まいを考える会  
長野工業高等専門学校 秋田県立大学

みんなで作る  
住宅浸水直後の  
行動手順書  
できる・やれる・あきらめない